

地域医療連携推進法人につきて

一般社団法人 湖南メディカル・コンソーシアム

代表理事 吉川隆一 / 理事 柏木厚典

～参加法人～

医療法人 芙蓉会 理事長 遠藤衛

社会医療法人 誠光会 草津総合病院 病院長 平野正満

第1 法人概要

法人の概要

1. 名称

地域医療連携推進法人 湖南メディカル・コンソーシアム（認定後）

2. 代表者

代表理事 吉川 隆一

3. 主たる事務所の位置

滋賀県草津市草津三丁目9番14号

4. 目的

本法人は、医療連携推進方針に基づき、医療・介護従事者の資質向上、医療機能の相互補完、地域包括ケアの推進、参加法人の経営効率向上等に関する大津・湖南地域における医療連携推進業務を行い、地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資することを目的とする。

法人の概要

5. 医療連携推進区域

滋賀県大津市、草津市、栗東市、守山市、野洲市

6. ご参加者

- ・一般社団法人 誠光会
- ・医療法人 華頂会
- ・医療法人 スマイル
- ・医療法人 芙蓉会
- ・医療法人社団 井上医院
- ・医療法人社団 富田クリニック
- ・金田医院
- ・社会医療法人 誠光会
- ・社会福祉法人 華頂会
- ・社会福祉法人 誠光福祉会
- ・社会福祉法人 しあわせ会
- ・社会福祉法人 よつば会
- ・特定非営利活動法人 ゆうらいふ

法人の概要

7. 理念と運営方針（医療連携推進方針より） （理念）

湖南メディカル・コンソーシアムは、大津市、草津市、栗東市、守山市、野洲市域において滋賀県が進める地域医療構想と地域包括ケアシステムの実現を目指し、切れ目のない医療・介護サービスを将来にわたって安定的に提供することを目指します。

（運営方針）

湖南メディカル・コンソーシアムでは、地域医療構想と地域包括ケアシステムの実現を目指し、以下の取り組みを実施いたします。

- 一、参加法人の個性や特徴を活かしつつ相互連携を進め、安定的かつ持続可能な施設運営を支援いたします。
- 一、地域包括ケアシステムの構築を行政他関連団体と共に進め、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療、介護、生活支援を享受できるよう取り組みます。

法人の概要

8. 医療連携推進業務（医療連携推進方針および定款より）

- (1) 医療連携推進方針に沿った連携を推進するための医療機能の相互補完
- (2) 在宅医療との業務連携を推進し、患者・利用者が参加法人施設間で移動が必要となった際にはサポートカーを運行
- (3) 予防医療の充実
- (4) 医療・介護従事者の資質向上に資する共同研修
- (5) 参加法人内で不足する介護従事者の養成
- (6) 参加法人間の職員相互派遣
- (7) 患者・利用者に最適な医療・介護サービスを提供するための施設稼働状況や退院患者・施設入所待機者等の情報共有
- (8) 医療機器の共同利用
- (9) 経営効率向上に資するノウハウの共有
- (10) 医薬品・医療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・業務委託等の一括価格交渉および共同購入
- (11) 給与計算・採用活動・広報活動・決算業務等の管理業務の効率化
- (12) 前各号に掲げるものの他、地域医療連携推進に関する事業

法人の概要

9. 地域医療連携推進評議会

- | | | |
|-------------|--------|-----|
| ・大津市医師会 | 木村 隆 | 会長 |
| ・草津栗東医師会 | 中嶋 康彦 | 会長 |
| ・守山野洲医師会 | 福田 正悟 | 会長 |
| ・済生会滋賀病院 | 三木 恒治 | 院長 |
| ・大津市健康保険部 | 西村 和利 | 部長 |
| ・草津市健康福祉部 | 西 典子 | |
| ・滋賀県社会福祉協議会 | 馬場 八州男 | 副会長 |

第2 湖南医療圏の現状と将来

湖南医療圏の現状と将来

～滋賀県地域医療構想 第2章 湖南区域より～

1. 人口

湖南区域の特徴として、人口が既に減少傾向に入っている県全体やほかの区域とは異なり、今後20年間は引き続き増加する推計となっています。若年層の減少は少なく、高齢者の人口は今後、急激に増加する見込みとなっています。国内でもあまり例のない、人口増加区域における機能的で高効率の医療・介護提供モデルを構築する必要があると考えます。

2. 病床

	実数	人口10万人あたり	
		全国平均との差	滋賀県平均との差
病院病床数	3,046	▲ 314.0	▲ 111.4
一般病床	2,410	24.8	66.7
療養病床	416	▲ 131.8	▲ 68.4
精神病床	216	▲ 201.5	▲ 103.6
有床診療所病床数	208	▲ 32.3	19.4

病院病床数、療養病床数、精神病床数はいずれも県平均を下回っていますが、一般病床は全国平均、県平均を上回っています。病床機能の確保・充実にあたっては病院間の連携が不可欠であると考えます。また、不足する慢性期医療の整備にあたっては、在宅医療を提供する開業医の先生方との連携が必要であると考えます。

湖南医療圏の現状と将来

～滋賀県地域医療構想 第2章 湖南区域より～

3. 病床利用率・平均在院日数

	病床利用率	全国平均との差	滋賀県平均との差	平均在院日数	人口10万人あたり	
					全国平均との差	滋賀県平均との差
一般病床	75.0	▲0.5	▲0.5	18.6	1.4	1.5
療養病床	93.1	3.2	2.5	341.0	172.7	161.7

病床利用率は、一般病床では75.0%、療養病床では93.1%となっており、一般病床は全国値、滋賀県値を少し下回っていますが、療養病床は上回っている状況です。今後の人口増加に対応するため、病床の効率的な運用に取り組む必要があると考えます。

4. 医療従事者

	実数	人口10万人あたり			実数	人口10万人あたり	
		全国平均との差	滋賀県平均との差			全国平均との差	滋賀県平均との差
医師	702	▲34.0	▲11.4 (県下2位)	看護師	3,068	66.6	22.7
歯科医師	189	▲25.0	0.3	理学療法士	115	—	▲4.2
歯科衛生士	287	▲3.6	4.2	作業療法士	79	—	2.7
薬剤師	815	18.2	37.6	言語聴覚士	25	—	2.6

医師と理学療法士以外の職種では、県平均を上回る医療従事者数となっています。

しかし、今後実施が義務付けられる所謂「働き方改革」の各事項を履行するにあたっては近隣の法人が人的資源を互いに補完し合う仕組みを構築する必要があると考えます。

湖南医療圏の現状と将来

～滋賀県地域医療構想 第2章 湖南区域より～

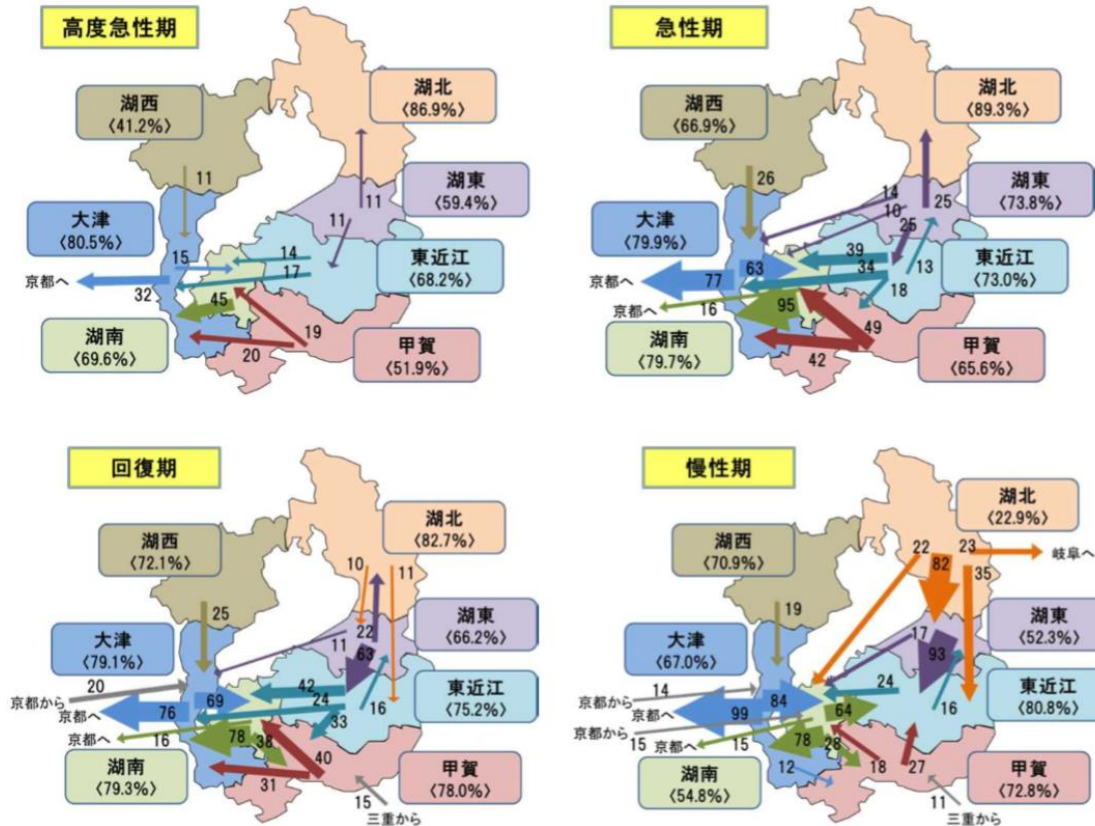
5. 在宅医療・介護サービス施設

	実数	人口10万人あたり
		滋賀県平均との差
在宅療養支援診療所	25	▲1.0
訪問看護ステーション	20	▲0.4
介護老人福祉施設	1,020	▲102.5
介護老人保健施設	570	▲36.4
有料老人ホーム	163	▲52.9
サービス付き高齢者住宅	412	1.0

サービス付き高齢者住宅を除く、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、有料老人ホームのすべてが県平均を下回っています。

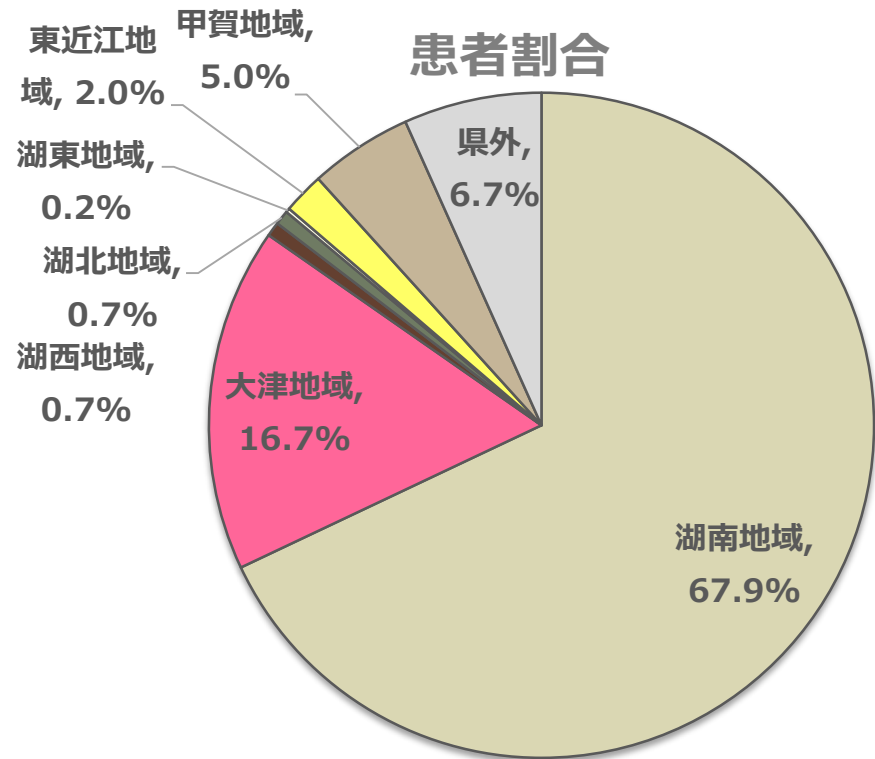
切れ目なく医療・介護を提供できる体制をつくるために複数の法人が地理的・機能的に重なりなく在宅医療・介護サービス施設を展開する必要があると考えます。

湖南医療圏の現状と将来 ～大津医療圏との関係～



患者さんの動向は東⇒西となっており湖南医療圏から大津医療圏への流出が多くなっています。その一方で

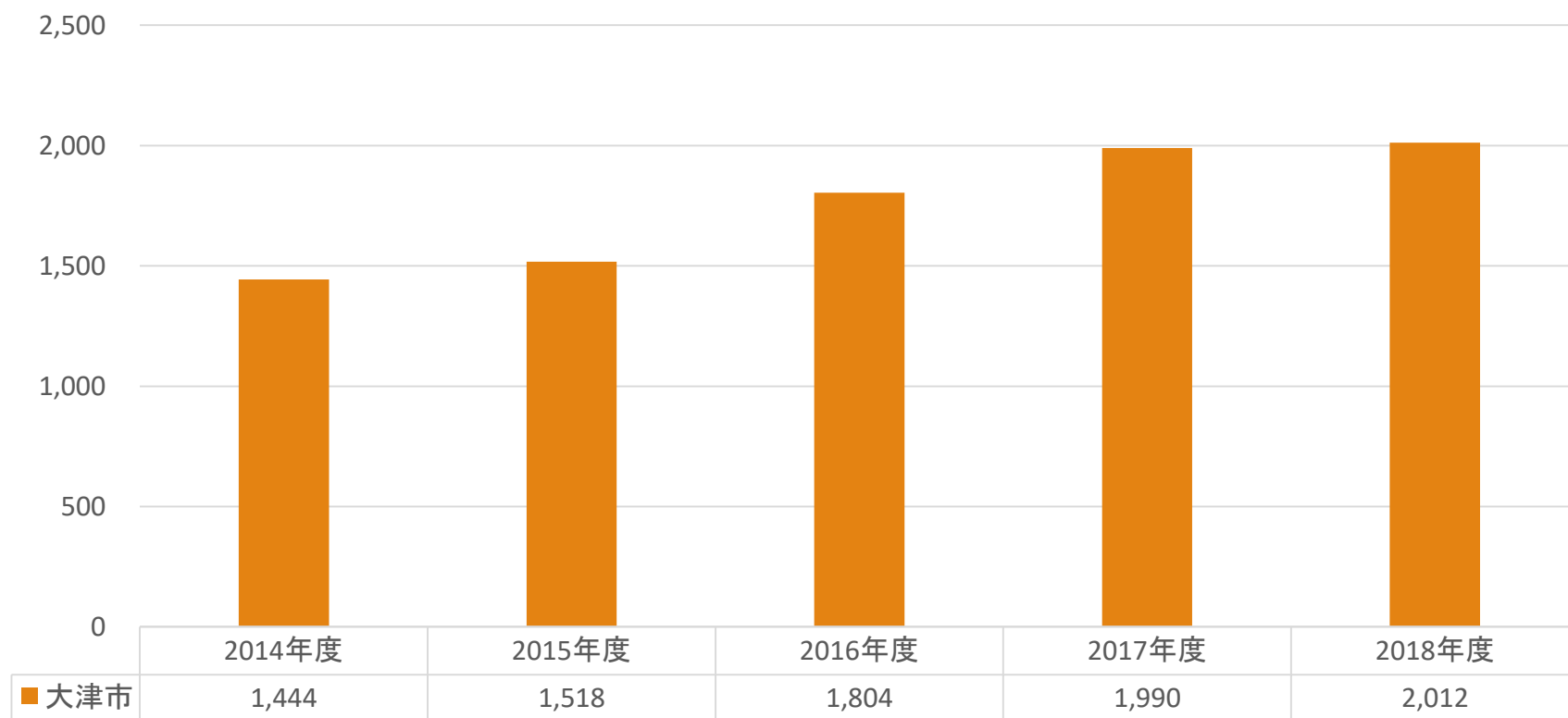
湖南医療圏の現状と将来 ～大津医療圏との関係～



草津総合病院では、大津医療圏からの流入が年々増加しています。

湖南医療圏の現状と将来

～大津医療圏との関係～

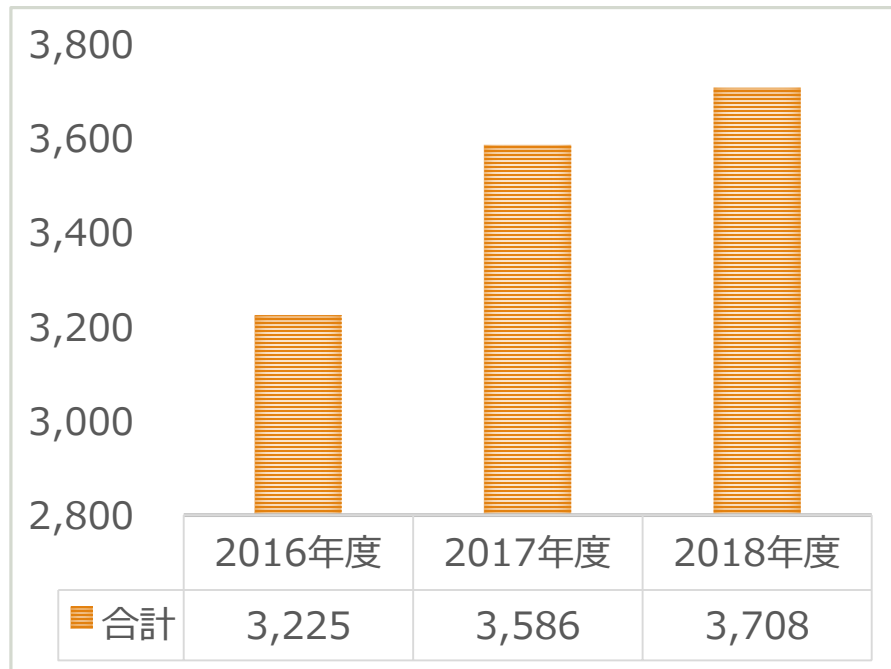


近江大橋無料化以降、大津市からの入院患者数が増加傾向となっています。

湖南医療圏の現状と将来

～大津医療圏との関係～

大津市域からの 紹介患者数の推移



大津市中学校区別 紹介患者数

	2016年度	2017年度	2018年度
瀬田学区	428	414	456
瀬田北学区	1,710	1,996	2,063
青山学区	103	60	71
石山学区	55	69	56
粟津学区	227	281	314
田上学区	51	52	58
南郷学区	112	130	100
打出学区	203	239	213
北大路学区	96	96	146
その他	240	249	231
合計	3,225	3,586	3,708

紹介患者さんも増加傾向となっています。

湖南医療圏の現状と将来

～大津医療圏との関係～

水谷医院	加藤内科胃腸科	祐森クリニック	大西皮フ科形成外科医院	レイクこどもクリニック	さいとう整形外科医院
滋賀医科大学医学部附属病院	たか耳鼻咽喉科医院	北村医院	大西クリニック	クリア歯科滋賀石山院	くどうクリニック
かとう医院	本田眼科	日本電気硝子ヘルスケアセンター	村田歯科医院	東洋紡織総合研究所・診療所	おち医院
大道医院	琵琶湖大橋病院	藤岡内科医院	曾田医院	林クリニック	おうみのくにクリニック
瀬田耳鼻咽喉科	小西医院	東野歯科医院	曾根歯科医院	中井医院	かわむら整形外科・内科クリニック
金田医院	山中医院	大村整形外科医院	臈所つめおか歯科医院	大西医院(大津)	井上医院(大津市)
大津市民病院	駒井クリニック	打出病院	前田医院	坂本民主診療所	松が丘内科診療所
滋養病院	吉田医院	増田歯科医院	西大津耳鼻咽喉科	まるやま歯科クリニック	かやはら歯科クリニック
桐生園	琵琶湖病院	青地うさだクリニック	瀬古内科クリニック	パールデンタルクリニック	美崎ファミリークリニック
井上医院(大津)	大津赤十字志賀病院	大津赤十字志賀病院	上原医院	おおつデンタルクリニック	西村整形外科医院
田中皮フ科医院	成田矯正歯科医院	滋賀医科大学	小泉医院	木下レディースクリニック	つかだ矯正歯科
竹林ウイメンズクリニック	瀬田医院	山川歯科医院	小川歯科医院	田中診療所	あさいこどもクリニック
大津赤十字病院	吉徳医院	山田内科	小倉沢歯科診療所	青木医院	本丸ただけ医院
松島産婦人科医院	北村クリニック	山田整形外科病院	滋賀県職員診療所	小西醫院	前田クリニック
瀬田川病院	リバーサイドクリニック	湖南クリニック	山本整形外科クリニック	滋賀大学保健管理センター分室	西川歯科医院
まつだ医院	おの医院	原田医院	山元整形外科医院	桂田医院	森井眼科医院
玉川医院	木下産婦人科	坂部医院	坂部医院	豊庭医院	小児科おくた医院
琵琶湖養育院病院	若松医院	よしたクリニック	湖都クリニック内科循環器内科	(閉院) 若松医院	関西電力株式会社 滋賀支社 健康相談室
レイクサイドクリニック	滋賀県総務部総務事務・厚生課健康管理係	やすひ総合内科クリニック	戸崎歯科医院	雄琴歯科医院	横田眼科
のむら眼科	貴田耳鼻咽喉科	むらた歯科クリニック	桂川レディースクリニック	福島耳鼻咽喉科	ますぎ歯科クリニック
岡島内科胃腸科医院	能谷大学瀬田診療所	ほんだクリニック	駒井眼科	伏木医院	ほんだ皮フ科クリニック
たかレディスクリニック	鶴岡眼科医院	ふじかわ耳鼻咽喉科	金谷クリニック	波田内科医院	にの浜クリニック
ほりい矯正歯科クリニック	滋賀里病院	ひかり病院	桐山皮ふ科	藤野医院	ときき坂メンタルクリニック
いしやま内科整形外科	桂医院	たなか耳鼻咽喉科	岩波整形外科医院	藤田整形外科医院	チルシー
湖山クリニック	奥村医院	せと肛門胃腸クリニック	株式会社サンテリカ滋賀事業所	中村歯科医院	北雄琴クリニック
おおむら内科クリニック	遠藤クリニック	さいぎ整形外科	永井医院	大津市保健所健康推進課	北村整形外科
はえうち診療所	しま歯科クリニック	きつみのクリニック	井上医院(草津)	大津ファミリークリニック	八木歯科
滋賀県厚生農業協同組合連合会	かながわ歯科醫院	いのうえ眼科	伊藤医院	多田歯科医院	日本精工(株) 大津工場診療所
川会内科医院	尾松歯科医院	いながきハートクリニック	ローズ診療所	村田内科小児科クリニック	大津市健康管理医
さくらクリニック	青木レディースクリニック	B・O・Hケア・サービスセンター	レーク・ホロニー	臈所グリーン歯科	増田耳鼻咽喉科医院
ファミリー福田歯科	西大津歯科医院	高山歯科医院	よしかわ歯科医院	泉内科循環器科医院	臈所梅岡歯科
藤井医院	西山医院	和迹診療所	みやこ皮フ科	石川歯科	石山眼科クリニック
琵琶湖中央病院	瀬田グリーン歯科	林内科クリニック	みずき皮フ科クリニック	石場診療所	森寺眼科医院
西角三愛小児科	佐々木医院	由良クリニック	まつだ内科胃腸科	瀬田三愛小児科	重永医院
瀬田クリニック	やまもとファミリークリニック	矢沢耳鼻咽喉科医院	つろせ耳鼻咽喉科医院	松本ペインクリニック	滋賀県教育委員会事務局 健康福利室
井上医院	みどりの丘歯科クリニック	野口医院	ひらた医院	松井歯科医院	滋賀刑務所医師課診療所
三大寺ハビロクリニック	こころ歯科クリニック	野玉歯科医院	ハッピー-ねもとクリニック	滋賀県病院事業庁経営管理課総務係	高山歯科医院
伊豆蔵医院	えいこう歯科医院	北川歯科医院	なかじま内科クリニック	滋賀県歯科医師会口腔衛生センター	福富眼科
藤井皮フ科クリニック	目片歯科医院	浜本内科医院	つつみ眼科	滋賀医科大学保健管理センター	やました眼科
くるづ外科医院	大津クリニック	日吉台診療所	特別養護老人ホーム カーサ月の輪	佐野歯科クリニック	ひちくクリニック
中川歯科医院	南大津整形外科	特別養護老人ホーム カーサ月の輪	東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター	たけだクリニック	なかじまクリニック
臈所診療所	上田上診療所	東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター	たけだクリニック	しみず小児科内科医院	たかやま歯科医院
わかばやし皮ふ科クリニック	滋賀県健康づくり財団	たけだクリニック	かわむら医院	かかわむら医院	しらゆり歯科クリニック
もみじが丘診療所	滋賀医科大学 公衆衛生学部	中橋歯科医院	かやの浦小林診療所	綾羽株式会社 健康推進室	こはらデンタルクリニック
夕照歯科	桜谷診療所	竹村皮フ科クリニック	おかじまクリニック	ふじおかクリニック	
つかだ内科クリニック	下嘉医院	竹下整形外科	市立大津市民病院	ふくた診療所	
浮田クリニック	粟津診療所	滝本医院	あそクリニック	たかよし小児科循環器科医院	
山口医院	よしかわ医院	大津市総合保健センター	棚橋整形外科	しばやま耳鼻咽喉科クリニック	
もりかわ歯科医院	高岡医院	大津京おおほ歯科医院	本田眼科	さら歯科医院	

(2016年度～2018年度の3年間で紹介・逆紹介の実績があるクリニックや施設 289施設)

第3 地域医療連携推進法人が担う役割

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

滋賀県地域医療構想 (「7 構想実現に向けた施策」より)	医療連携推進方針（医療連携推進業務）	
(1) 病床機能分化・連携の推進	医療機能の相互補完と 病床機能分化	(1) 地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資する医療機能の相互補完に取り組みます (7) 患者・利用者に切れ目なく医療・介護を提供するために参加法人間で施設稼働状況を共有し、最適な医療・介護を提供するために『びわ湖あさがおネット』を活用することで患者・利用者の情報共有を行います。
(2) 地域包括ケアシステムの充実	在宅医療と業務連携 予防の充実	(2) 在宅医療との業務連携を推進し、患者・利用者が参加法人施設間で移動が必要となった際にはサポートカーの運行を実施します。 (3) 特定保健指導等の健診後フォローに取り組むことで予防医療の充実にはかります。
(3) 医療・介護従事者の確保・育成	参加法人間の職員派遣、共同での人材育成・共同研修	(4) 参加法人の医療・介護従事者の資質向上に資する研修を共同で開催します。 (5) 参加法人内で不足する介護従事者の養成を行います。 (6) 参加法人における人的資源の相互補完を目的とした職員相互派遣を実施します。
その他の医療・介護サービスを将来に渡って安定的に提供するための施策	医療機器の共同利用 医薬品・診療材料等の共同交渉・共同購入 委託業務の共同交渉	(8) 医療機器の共同利用を促進します。 (1 1) 参加法人が使用する医薬品・医療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・業務委託等の共同購買と一括価格交渉を行います。 (9) 経営効率向上に資するノウハウを参加法人間で共有します。 (1 1) 参加法人の給与計算、採用活動、広報活動、決算処理業務等の管理業務を共同で実施することで効率化を図ります。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

(1) 病床機能分化・連携の推進

1-1. 病床機能と必要量

医療機能区分	2025年医療需要 (患者住所地ベース の医療需要) (人/日)	2025年医療供給		2015年時点の 医療機能	必要量と現状と の差
		現在の医療提供体 制が変わらないと仮 定した場合の共有数 (人/日)	病床の必要量 (病床稼働率で割 り戻した病床数) (床)		
高度急性期	217	221	294	374	80
急性期	697	779	999	1,563	564
回復期	751	803	892	272	▲620
慢性期	475	479	521	685	164
(無回答)	—	—	—	59	—
合計	2,140	2,282	2,706	2,953	

湖南区域の人口は、既に減少傾向に入っている県全体やほかの区域とは異なり今後も増加傾向で推移していくことが予測されています。総人口は2035年にピークを迎え、75歳以上人口は2025年に2010年の約2倍となり、2040年まで増加傾向で推移する見込みです。この為いずれの病床機能においても需要が増すこととなりますが、特に回復期の病床が不足する予測となっています。この予測では、回復期の稼働率を90%で試算していますが、今回の連携推進法人に参加する草津総合病院・南草津病院・琵琶湖養育院病院の広域ベッドコントロールを実施することにより稼働率を向上させ、不足病床分を補うことを目指します。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

1-2. 3病院の病床数

	一般	回復期	地域包括	医療療養	介護医療院
草津総合病院	370床	42床	108床	99床	100床
南草津病院		77床		60床	
琵琶湖養育院病院	25床		18床	111床	

1-3. 疾患別の機能分化と連携（例：大腿骨頸部骨折） ※地域医療構想で増加が予測される疾患

	一般	回復期	地域包括	医療療養	介護医療院
草津総合病院	◎	— (脳リハ)	—	—	—
南草津病院		◎		—	
琵琶湖養育院病院	—		◎	—	

病床機能は同じ回復期病床であっても、脳リハは草津総合病院、運動器リハは南草津病院とするなど扱う疾患を変え、専門性を高めることで、質と効率を高め増加するニーズに対応できる体制をつくります。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

(2) 地域包括ケアシステムの充実

2-1. 訪問看護ステーション

湖南区域は、今後20年間は引き続き人口が増加する推計となっており、若年層、壮年層の減少は小さく、高齢者の人口は急激に増加する見込みです。この為、2025年の在宅医療等の需要は2013年の1.70倍に増える見込みとなっています。このような中、在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションの数は、県平均を下回っており、さらなる充実が求められていますが、限られた人的資源を有効に活用する為に競争よりも協調という地域医療連携推進法人の設立目的に則り、参加法人が地域や機能が重ならないように調整し、訪問看護ステーションの整備を促進します。

2-2. 地域包括ケアシステムの充実

病院（3施設）とクリニック（5施設）・介護老人保健施設（3施設）・特別養護老人ホーム（9施設）・グループホーム（9施設）・デイサービス（4施設）・訪問看護ST（4施設）・居宅介護支援事業所（4施設）等が連携することで切れ目のない医療・介護連携システムを構築します。また、情報共有には『びわ湖あさがおネット』を用いることを想定している為、連携推進法人に参加されていない各種法人・施設・職能団体等を含め利用を促進します。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

(3) 医療・介護従事者の確保・育成

3-1. 職員の相互派遣（出向）

湖南区域の医師は、大津市を除く県内他区域と比べて充足しているものの、全国平均は下回っています。そのような中、看護師等を含めたすべての医療従事者の働き方改革、勤務改善に向けての取り組みを行うことが求められています。そこで、参加法人の職員を相互派遣（出向）させることでまとまった休みがとれる状態を作ります。

3-2. 共同研修

参加法人が互いの施設をチェックし、質的向上を目指すべきポイントを明らかにします。ここで明らかになったポイントに対する教育を実施することと新卒者研修等を共同で実施します。

3-3. 介護従事者の確保

介護従事者が慢性的に不足している状況の中、人材確保・定着対策をより一層強化する必要があります。そこで、募集や採用を連携推進法人として協力して行うことで効果的な採用活動を実施いたします。また、外国人技能実習生の受け入れ等も共同で行い、介護従事者の確保に努めます。

ご清聴ありがとうございました。

ご承認の程、お願い申し上げます。

参考：地域医療連携推進法人が担う役割

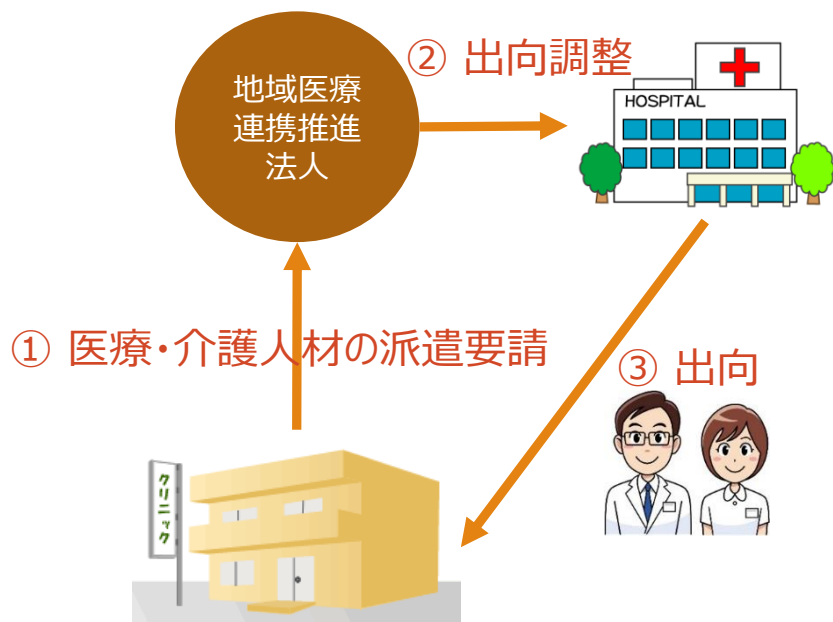
～具体的な取り組み～

地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

1 医療従事者の相互派遣（出向）

急な退職者が出たときや、まとまったお休みをおとりになりたいとき、外来診療科の開設が必要となったとき等、必要に応じて医師、看護師等の出向を調整いたします。



2 共同研修

経験別・役職別・職種別の教育システムを構築し、複数施設合同で研修を実施いたします。また、医療・介護の先端・専門研修の共同開催も行います。

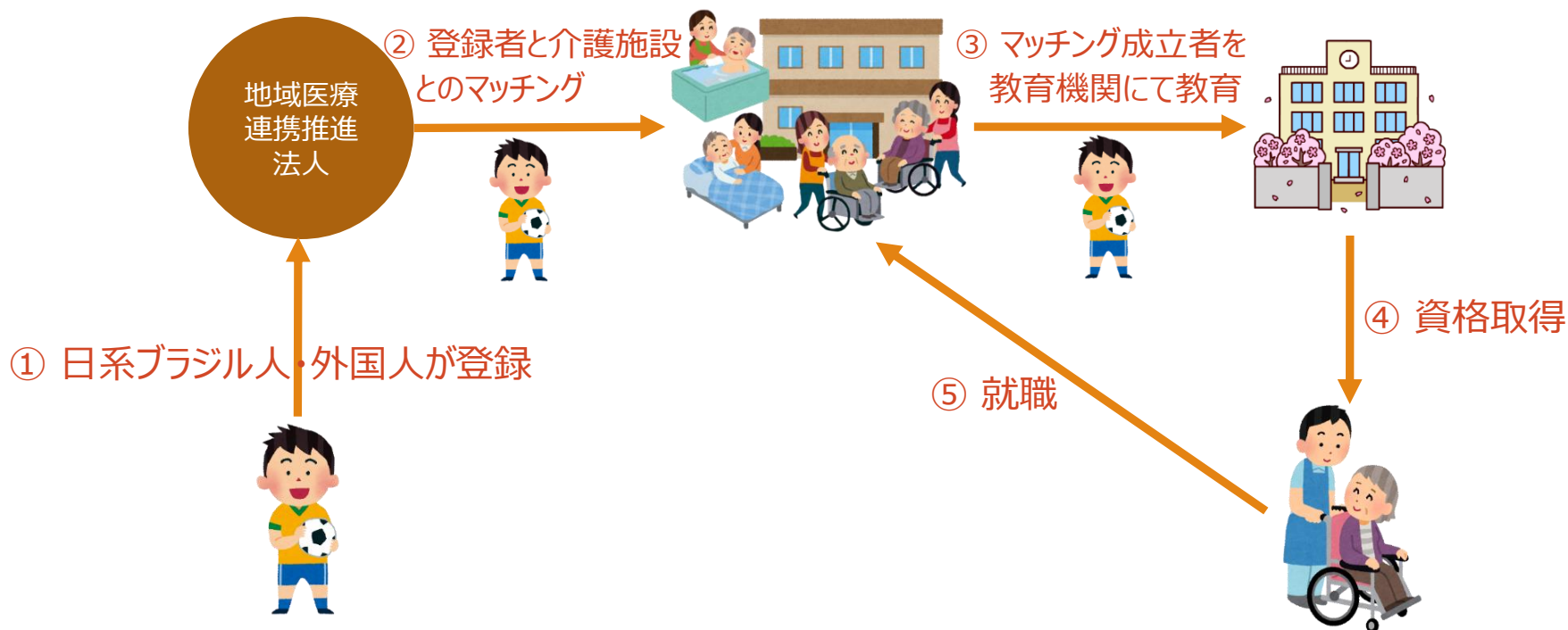


地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

3 介護従事者等の資格取得支援

特に不足している介護従事者の確保を目指し、地域医療連携推進法人が募集・採用し、参加法人にご紹介する方法と共に、日系ブラジル人や外国人の資格取得支援も行います。



地域医療連携推進法人が担う役割

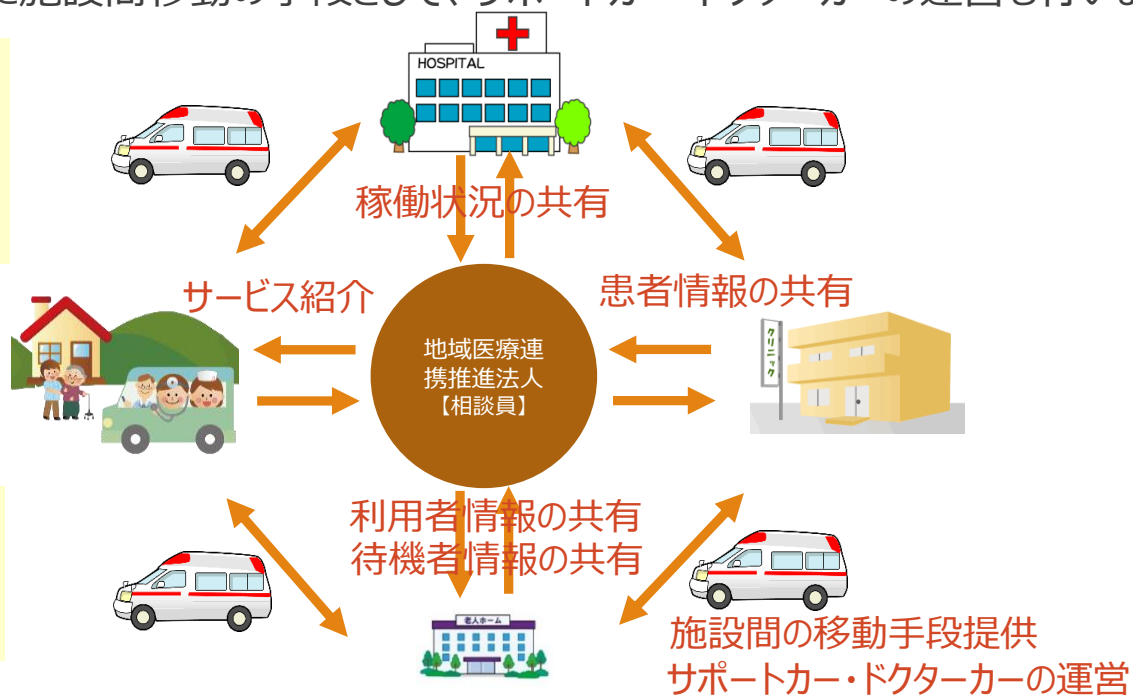
～具体的な取り組み内容～

4 『びわ湖あさがおネット』の活用と地域包括ケアシステムの支援

『びわ湖あさがおネット』参加施設の拡大を支援し、これを活用することで患者・利用者情報の共有を促進します。また、患者・利用者には最適な医療・介護サービスを提供するために参加施設の稼働状況の情報共有も行います。さらに施設間移動の手段として、サポートカー・ドクターカーの運営も行います。

地域医療連携推進法人が中心となって各種法人・施設・職能団体等に対し『びわ湖あさがおネット』参加を促す

患者・利用者情報を共有することで、適切な医療・介護を提供する

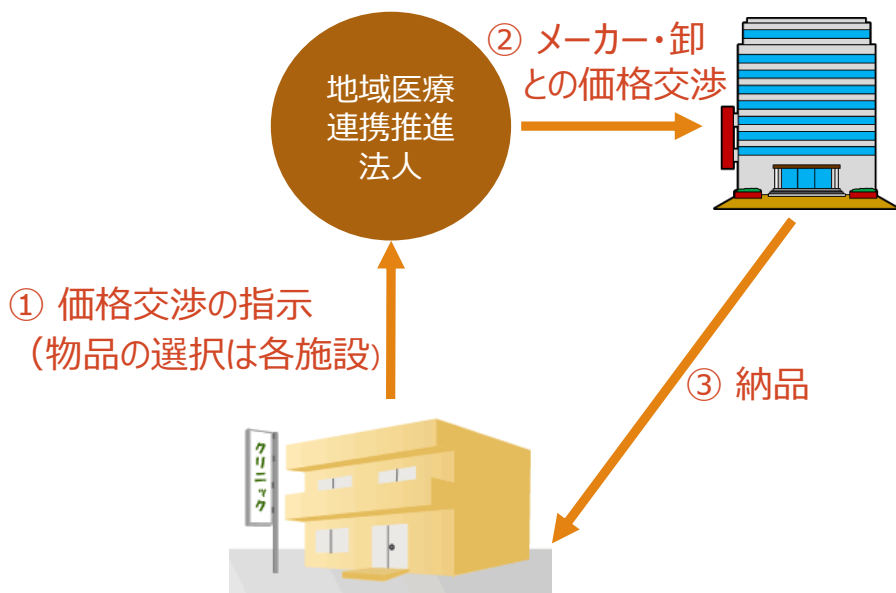


地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

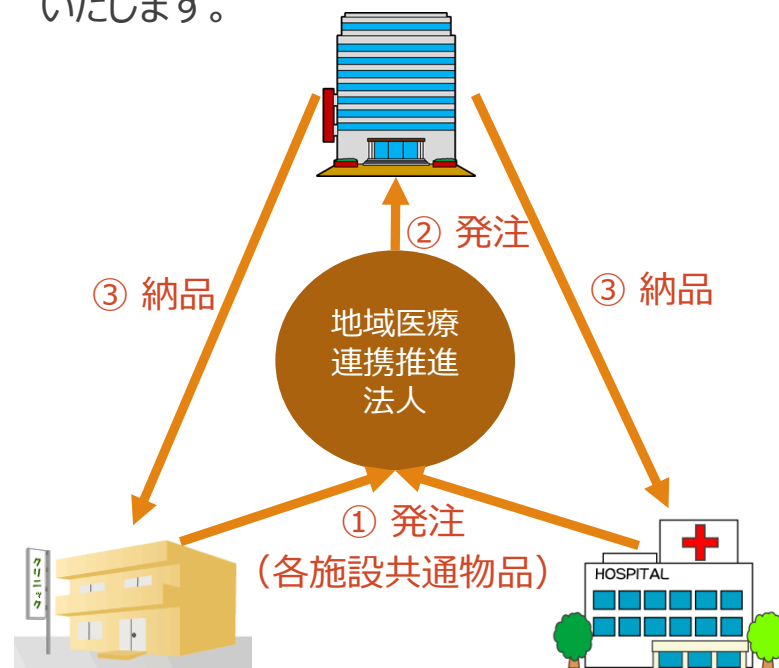
5 価格交渉代行（購買業務委託）

医薬品・診療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・職員の福利厚生（住宅ローン金利等）・その他業務委託の一括価格交渉を実施いたします。



6 共同購買

医薬品・診療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・職員の福利厚生（団体保険等）・その他業務委託の共同購買を実施いたします。

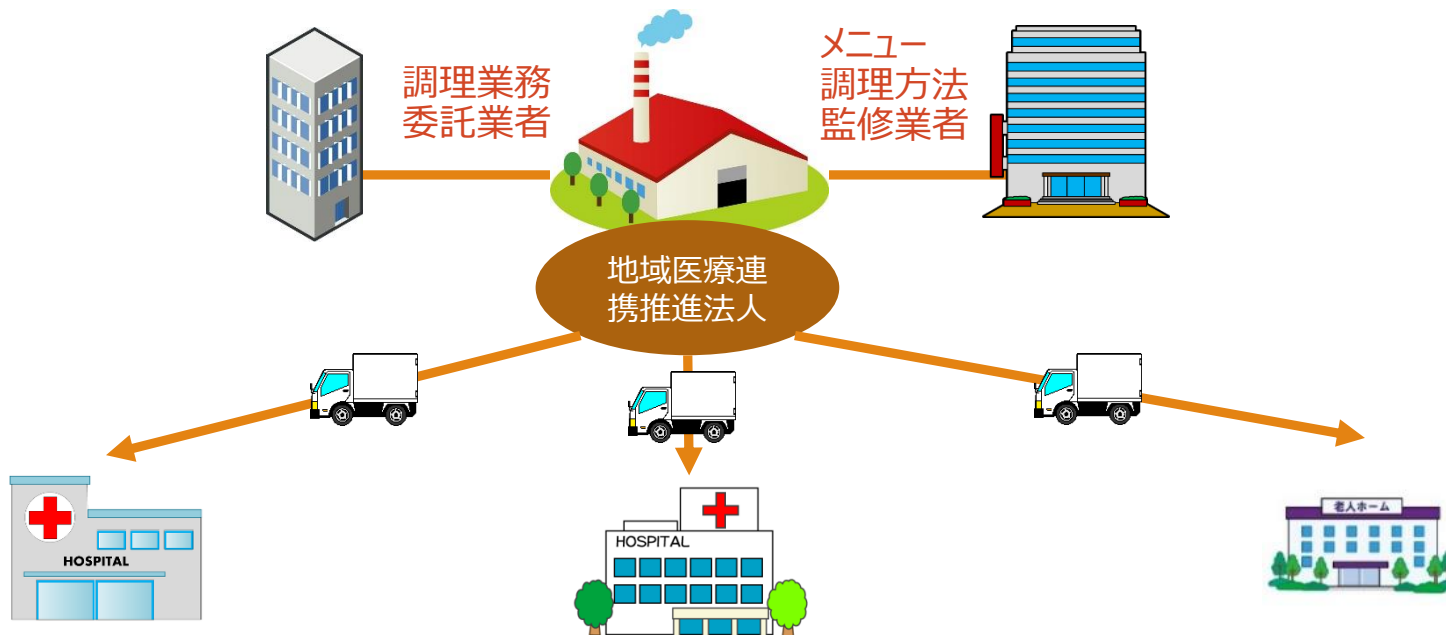


地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

7 給食セントラルキッチン

現在、早朝勤務と深夜勤務の調理師の確保が困難な状況です。人員を確保できたとしても人件費が高騰していることから食材費を圧縮している状況です。この為、患者の給食への評価は年々悪くなっています。今後もこの状況が続くことが予想される為、人員の確保が比較的容易な時間帯で翌日分の3食を作り、冷凍保存するセントラルキッチンの運営を計画していきたいと考えています。



地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

8 事務業務の効率化

各施設で共通する給与計算・採用活動・広報活動・決算業務等の事務業務を受託することで効率化を目指します。

